

☆私たちは平和憲法からぶれない

―真珠湾攻撃から七十一年、日本の進路、羅針盤を考える―

日本の進路・航路が危ない

- ◆いま、日本は将来に向かってどの方向に進路を取るべきか、わからないという人が大多数のようです。
- ◆具体的に、原発をどうするのか、安全保障はどうするのか、社会保障はどうするのか、経済をどうするのか・・・不透明な課題ばかりだと言われます。
- ◆これらは皆、憲法の三原則（平和主義・民主主義・基本的人権）に関わる事です。が、このうちいま最も危機に直面しているのが平和主義です。

憲法に照らしてどうか

- ◆いま、領土問題発生を好餌に、日本を堂々と戦争の出来る国にしようという動きが活発になってきました。
- ◆例えば、自衛隊など卒業して国防軍（＝軍隊）にせよとか、アメリカと一緒に戦争を出来るようにせよ（集団的自衛権の容認）という主張があります。
- ◆私たちは現在の自衛隊でも、憲法第九条に照らして問題のある存在であると考えています。そしてこれを真っ向から否定する考えに危機感を持っています。

羅針盤は平和憲法

- ◆二〇一二年の年末を迎え、私たちは戦後六七年間戦争をせずに歩んでこれたのは、平和憲法という日本の進路の羅針盤があったからだと確信しています。
- ◆しかしいま、この羅針盤を取り替え、戦争の出来る国に航路を変えようとする動きがあります。
- ◆私たちは、この動きには断固反対します。
七十一年前の昨日は、日本が真珠湾を奇襲し太平洋戦争が始まった日です。
あの悲惨な戦争を再び繰り返してはなりません。

- ◆私たちは、日本の進路を考えるにあたり、安全保障も原発も、社会保障も、経済も、現在の憲法でしっかり担保されると確信しています。
- ◆護憲を訴え、歩き続けて半世紀。今日は五五〇回目の平和行進です。
- ◆私たちは平和憲法から決してブレません。

（浜松市憲法を守る会のホームページを更新しました。下記のアドレスからご覧下さい）

二〇一二年十二月九日（日） 第五五〇回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇―一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合